

年金業務・社会保険庁監視等委員会(第15回)議事要旨

1. 日時 平成20年12月5日(金) 14:00~15:10

2. 場所 中央合同庁舎第5号館16階委員会室

3. 出席者

(委員会) 葛西委員長 大宅委員長代理 磯村委員 岩瀬委員 住田委員 村岡委員

(総務省) 橋口行政管理局長 田部事務室長 小森主任調査員 ほか

(社会保険庁) 坂野社会保険庁長官 薄井総務部長 中野社会保険業務センター所長
福本運営部企画課長 井上運営部年金保険課長

4. 議事次第

(1) 社会保険庁からのヒアリング

(2) その他

5. 会議経過

○ 社会保険庁から、工程表に基づく作業の進捗状況等について、以下の内容を中心とした説明があり、委員からは、報告内容の事実確認や関連質問等があった。

- ・ 5000万件に関する特別便については、10月31日現在で、3月末までに送付した「ねんきん特別便」は1030万人中664万人から、4月から送付したすべての年金受給者・加入者への「ねんきん特別便」は約9850万人中約5000万人から回答があった。
- ・ コンピュータ記録と国民年金の特殊台帳等との突合せ作業については、対象件数3304万件中1226万件(約4割)が完了した。
- ・ 記録の統合等に伴う年金額の再裁定については、職員の重点配置やシステムの機能強化により、事務処理の迅速化を図っている。

このほか、不適正な遡及訂正処理の可能性のある記録のうち年金受給者(約2万件)への戸別訪問の状況について、12月4日に公表した内容の報告があった。

○ 次回の委員会は、2月27日(金)14時から開催予定

[文責 総務省(事務室)]